

2022年12月15日

【格付維持】

日本学生支援機構

発行体格付： AA+ [格付の方向性：安定的]

格付投資情報センター(R&I)は上記の格付を公表しました。

【格付理由】

日本学生支援機構は奨学金の貸与・給付などを通じて学生支援を先導する中核機関。経済面で修学環境を整備し、人材育成に貢献している。民間事業者の代替が困難な奨学金の貸与・支給などを通じて学生をサポートする教育政策上の重要性は極めて高く、格付は政府同格としている。

高等教育の修学支援新制度が2020年度に始まり、機構は返済義務のない給付型奨学金事業の規模を大幅に拡充した。奨学金残高は長く増加傾向にあったが、2020年度以降は微減に転じている。給付型奨学金が増える一方、貸与型奨学金の増加が停滞したことが背景だ。感染症拡大や物価上昇で経済が減速する中でも奨学金の回収状況に大きな変化はなく、資産の質はやや改善傾向にある。

岸田文雄首相が率いる現政権は給付型奨学金の利用条件緩和や「出世払い型」奨学金制度の導入を検討するなど、人への投資、教育重視の姿勢を明らかにしている。奨学金事業のほかにも留学生支援事業や学生生活支援事業なども手掛け、国際相互理解や人材育成の面でも幅広く貢献する機構の政策上の高い位置付けは揺らぎそうにない。

貸与奨学金は貸し倒れや金利変動のリスクを抱えるものの、必要な場合は政府が資金を財源措置することが法定されている。2021年度において、旧日本育英会から承継した学資貸与金に係る貸倒引当金の戻し入れで生じた利益剰余金を取り崩し、未収財源措置予定額に充当することを前提に財源措置が行われることになった。これに伴い、機構はこれまで資産計上してきた未収財源措置予定額を取り崩し、多額の臨時損失を計上した。同時に利益剰余金である前中期目標期間繰越積立金を取り崩したが、損失を補いきれず当期総損失が発生した。もっとも、現中期目標期間における利益剰余金と相殺したため、繰越欠損金は生じていない。これらはルール変更に伴う一過性の損失に過ぎず、機構の収支・財務が構造的に悪化する懸念はない。

【格付対象】

発行者：日本学生支援機構

名称	格付	格付の方向性
発行体格付	AA+ (維持)	安定的

名称	発行総額 (億円)	発行日	償還日	格付
第62回日本学生支援債券	300	2021年02月08日	2023年02月20日	AA+ (維持)
第63回日本学生支援債券	300	2021年06月09日	2023年06月20日	AA+ (維持)
第64回日本学生支援債券	300	2021年09月08日	2023年09月20日	AA+ (維持)
第65回日本学生支援債券	300	2021年11月09日	2023年11月20日	AA+ (維持)
第66回日本学生支援債券	300	2022年02月08日	2024年02月20日	AA+ (維持)
第67回日本学生支援債券	300	2022年06月08日	2024年06月20日	AA+ (維持)
第68回日本学生支援債券	300	2022年09月07日	2024年09月20日	AA+ (維持)
第69回日本学生支援債券	300	2022年11月09日	2024年11月20日	AA+ (維持)

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail infodept@r-i.co.jp
■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室 (広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社 格付投資情報センター 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目2番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っており、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付(変更・取り下げ等を含む)に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につきましては<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html>をご覧ください。

信用格付に関わる事項

信用格付業者 登録番号	株式会社格付投資情報センター 金融庁長官（格付）第6号 直近一年以内に講じられた監督上の措置は、ありません。
主任格付アナリスト	喜多 総治郎
信用格付の付与について 代表して責任を有する者	丸山 博哉

信用格付を付与した日	2022年12月15日
主要な格付方法	政府系機関等の格付の考え方 [2019. 11. 12]

上記格付方法は、格付を行うにあたり考慮した他の格付方法とともに以下のウェブサイトに掲載しています。

https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_method.html

評価の前提は、以下のウェブサイトの格付付与方針に掲載しています。

https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_grant.html

格付符号とその定義は、以下のウェブサイトに掲載しています。

<https://www.r-i.co.jp/rating/about/definition.html>

格付関係者	日本学生支援機構
-------	----------

注 格付関係者は、金融商品取引業等に関する内閣府令第三百七条に基づいて、R&Iが判断したものです。

利用した主要な情報 品質確保のための措置 情報提供者	決算書類、開示情報、格付関係者から入手した情報等 公認会計士の監査済みである、またはそれに準じた信頼性が確保されている決算書類であること。一般に開示された、またはそれに準じた信頼性が確保されている情報であること。格付アナリストが妥当性を判断した情報であること。 格付関係者
----------------------------------	--

信用格付の前提、意義及び限界

R&Iの信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見です。R&Iは信用格付によって、個々の債務等の流動性リスク、市場価値リスク、価格変動リスク等、信用リスク以外のリスクについて、何ら意見を表明するものではありません。信用格付は、いかなる意味においても、現在・過去・将来の事実の表明ではありません。また、R&Iは、明示・黙示を問わず、提供する信用格付、又はその他の意見についての正確性、適時性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項について、いかなる保証もしていません。

R&Iは、信用格付を行うに際して用いた情報に対し、品質確保の措置を講じていますが、これらの情報の正確性等について独自に検証してはおりません。R&Iは、必要と判断した場合には、信用格付を変更することがあります。また、資料・情報の不足や、その他の状況により、信用格付を取り下げることがあります。

利息・配当の繰り延べ、元本の返済猶予、債務免除等の条項がある債務等の格付は、その蓋然性が高まるとR&Iが判断した場合、発行体格付又は保険金支払能力とのノッチ差を拡大することがあります。

一般に投資に当たって信用格付に過度に依存することが金融システムの混乱を引き起こす要因となり得ることが知られています。

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail infodept@r-i.co.jp
■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室 (広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社 格付投資情報センター 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目2番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付(変更・取り下げ等を含む)に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。